



65gという荷の軽さがむしろ難しかった「おみこし競争」。



小・中学校駅伝大会。



望来のパークゴルフ場に腕自慢集う!



「あき味の会」による石狩鍋のサービス。

○9月15日は「石狩鍋の日」ERIS

市内13の飲食店からなる石狩鍋復活プロジェクト「あき味の会」の申請により、「9月15日」が日本記念日協会の「石狩鍋記念日」として正式登録されました。記念すべき1年目の9月15日(月・祝)、メンバーが訪れたのは、緑苑町内会敬老会。自慢の石狩鍋を振る舞ったほか、石狩鍋大使のLet'sも駆けつけ、PRソング『石狩鍋with you!!』を披露。参加者たちは「やっぱり自宅で食べるのとは違い、こくがあっておいしい」と大絶賛しながら、石狩鍋に舌鼓を打っていました。

緑苑町内会敬老会の皆さんも大喜び。

○第8回石狩市民スポーツまつりERIS

9月7日(日)、5,200人を超える市民が、スポーツ広場で玉入れや5人6脚、おみこし競争などで気持ちのいい汗を流しました。この日は

サーモンマラソン大会や小・中学校駅伝大会も行われ、参加者は沿道に駆けつけた大勢の人々から温かい声援を送られていました。

石狩スポーツの秋



あの剛速球を目の前で!

○日本女子ソフトボール一部リーグ開催ERIS

北京オリンピック日本代表が多数集結した同リーグの石狩市大会が9月6日(土)・7日(日)、スポーツ広場で開催されました。最終試合には3,300人に及ぶ大観衆が足を運び、金メダリストの上野 由岐子選手らが所属するルネサス高崎と豊田自動織機が試合を行いました。結果はルネサス高崎が6対1で勝利。選手たちは終始さわやかな笑顔で、訪れた人々の声援に応えていました。

○第1回みなくる杯パークゴルフ大会

9月12日(金)、シーサイドみなくるパークゴルフ場で初の大会が行われ、約100人の愛好者が参加しました。涼しい秋の潮風に吹かれながら、参加者たちはにぎやかに、時にはホールインワンに歓声を挙げながら36ホールを堪能。なお、男性の部では札幌市から参加した大野行光さんが99、女性の部では花川北の高田恵子さんが105というスコアでそれぞれ優勝しました。

○雪辱遂げ、心叫太鼓厚嵐会が全国1位ERIS

8月16日(土)・17日(日)、「第7回東京国際和太鼓コンテスト」で厚田区の和太鼓サークル「心叫太鼓厚嵐会」が、「組太鼓青少年の部」で最優秀賞を受賞しました。本選出場は昨年に続いて2度目。昨年は初出場の緊張もあり、納得のいく演奏ができませんでしたが、今年は日々の練習の成果を遺憾なく発揮。力強くも美しい音で見事栄冠を手に入れました。



田岡市長に受賞報告をするメンバー。左から齋藤勇志君、浦口奨平君、齋藤諄輝君、栗谷健吾君、園田照君。

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。



リサイクルに支障の無いよう、きれいに洗淨します。

○花川南第5町内会夏祭り

夏の風物詩である、各町内会のお祭り。今年も各地域で工夫を凝らした夏祭りが開催されました。そのひとつ、花川南第5町内会では「地球に優しいお祭りを」がテーマ。これは「第2期ごみ減量化計画」の住民説明会に参加した町内会の皆さんが、「自分たちにもできることはないか」と考えたのがきっかけ。そこで、今年は発泡トレーを洗ってリサイクル業者へ持ち込み、割りばしは商店街でたぎつけにしました。すると、昨年は廃棄物処理に4万円かかったのに対し、今年はたったの1,000円。みんなの意識が高まったせいか、食べ残しも少なくごみの量がぐっと減る結果に。これから身近なところから続けていきたいと意欲をみせます。



表彰式後、「紅南探検隊」メンバーやサポーターの皆さんなどが集まって。



同じ手でも「こんなに違う!」ということを実感できます。



ヒグマの手

○いしかり砂丘の風 資料館のテーマ展「手」

8月23日(土)から始まったいしかり砂丘の風資料館のテーマ展「手」～骨にみる動物の生態～。そこに並ぶのは、ヒグマやネズミの前足やコウモリの翼、そして先月号の「いしかり博物館」でもご紹介したイルカの胸ビレなど。同じ「手」でも、その形や機能の違いにあらためて驚かされます。11月3日(月・祝)まで開催しているので、ぜひ皆さんも足を運んでみませんか。

○いしかりまるとフェスタ2008

8月23日(土)・24日(日)の2日間、各種事業者と市民、関係団体の協働によって開催された初のイベント。市役所前の特設会場にはいしかりバーガーや浜益和牛肉、あんこう鍋など石狩のウまいものや地元農産物などがずらり。花火大会やアンパンマンショーなどもあり、両日合わせて5万人もの人々にぎわいました。



○紅南探検隊がクリオネ賞を受賞

8月31日(日)、活動10年目を迎えることもエコクラブ「紅南探検隊」が、「クリオネ賞」を受賞しました。同賞は(社)日本水環境学会北海道支部が本年度創設した賞で、地域に根ざした環境学習に取り組む児童・生徒などの団体に贈られるもの。メンバーの1人で紅南小学校5年生の三宅勇人君は虫や魚に興味があり、副賞に希望した捕虫網や魚網、昆虫標本箱を前にして、「早く使ってみたいなあ!」。気持ちはすでに活動拠点である発寒川にありました。



本棚製作体験コーナーなど、企業が出展するブースにもさまざまな企画がありました。

市内のサークル・団体

会員募集

図書広報課
☎72-3145

広報いしかり12月号の会員募集記事掲載申込書の受付期間は10月20日(月)～31日(金)です。

●広報紙への会員募集記事掲載は「年1回」です。●掲載希望の場合は「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に秘書広報課窓口へ持参・郵送・ファックス・Eメールのいずれかで提出してください(先着8件まで)。●申込書は市役所3階秘書広報課窓口・各支所・市民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます。

フレッシュアップ(ソフトエアロピクス)

対女性 時水曜(月4回) 13:00～15:00
所市公民館(花川北6-1)
料月2,400円 1回700 入会金300円
関伊藤さん ☎74-6413

新婦人のお花小組(生け花)

対女性 時第4金曜 13:00～16:00
所講師宅(花川北4-2)
料月2,400円(花代・受講料1,500円含む) 入会金100円
関新婦人事務所 ☎73-1015(電話は平日10:00～16:00)

句歌歳時記

俳句

魂は何処に日蔭の三尺寝

三浦

利子

短歌

茨道四十年の時を越へ
老ひたる顔を二人で笑う

浅利

嘉子